

1 地域の概要

(1) 校区の概要

① 宇土市は、城下町とその周辺に農村をもって栄えた東西 24.8 km、南北 7.6 km、総面積 74.37 平方キロメートルの小都市である。本校区は、市の中心部より北西に位置し、JR 三角線及び国道 57 号沿いにある。平成 9 年に上新開より走潟にぬける次郎兵衛橋が通行可能となり、熊本市への交通は一段と便利になったが、交通量の増加による交通事故が心配される。

熊本地震及び豪雨水害による被害が大きかったが、徐々に復旧してきた。

② 本校区は、新開町（上新開・下新開）、野鶴町（伊津野・鶴見塚）、笹原町（潟・辺田・切所）、恵塚町（恵里）、城塚町からなり、面積 9.68 平方キロメートル、世帯数 773 戸、人口 1,970 人の町である。（平成 31 年 4 月 30 日現在）

行政区	世帯数（戸）	人口（人）
恵里区	56	140
鶴見塚区	51	178
伊津野区	125	281
上新開区	123	289
下新開区	131	375
潟区	97	281
辺田区	67	161
城塚区	123	265
計	773	1970

③ 校区の主要産業は農業であり、農家が全体の約半数を占めている。水稻を主産物とし、葉たばこ、メロン、いちご、みかん、トマトなどの栽培が多く見られる。また、海藻加工場、塗料工場、プラスチック工場、コンクリート製品工場等もあり、そこで働く人もいる。

④ 地域は緑川体育会、老人会等の活動も活発であり、また、子どもたちに関わる青少年健全育成協議会、公民館活動、各地区子ども会活動等も精力的に活動が進められている。学校運営協議会を中心に学校に対する協力・連携はもちろん、“地域の子どもは地域で育てる”という気風がある。

⑤ 校区のまとまりは強く、春季校区運動会は毎年、小学校と緑川体育会が一体となって運営し、多くの校区民が参加して盛大に実施される。また、みどりかわ教育の日や学習発表会などへの参加も多く、学校と保護者、地域が連携した学習活動や体験活動等が展開されている。